

令和元年度当初予算 福島県東日本大震災子ども支援基金を活用した事業

(単位:千円)

No.	事業名	概要	担当課	当初	うち 基金充当額
1	未来へはばたけ！イノベーション人材育成事業	「福島イノベーション・コースト構想」を周知し、福島への将来の夢や憧れを膨らませるとともに、算数・数学、理科への興味、関心を高め、自分の力を試したり、知見を広げたりするために、論理的な思考力・科学的思考力を問う問題に挑戦する機会や先端技術に触れる機会を設ける。	義務教育課	3,693	868
2	未来へチャレンジ！ふくしまスポーツ塾	スポーツに対する意欲、関心を持つきっかけや運動が苦手な本格的なスポーツ体験等への参加に抵抗を抱く子どもたちに対し、スポーツ・レクリエーションやニュースポーツを通じて身体を動かす楽しさを伝える機会を提供する。また、本県で活躍するトップアスリート等からこれまでの経験を伝えてもらうことにより、子どもたちの夢や希望及び本件への誇りの醸成に繋げる。	スポーツ課	11,194	868
3	ジャーナリストスクール開催事業	子どもたちの豊かな感性を育み、将来の福島県を担う人材として育成するとともに、「ふくしまの今」を県内外へ広く発信するため、本県の復興、復旧の現状、スポーツや文化に関わる人・団体を直接取材し、新聞記者等から指導を受け新聞にまとめる。作成した新聞を子どもたち自ら発表するとともに、ジャーナリストの池上彰氏から講評してもらう。	生涯学習課	4,700	3,136
4	ふくしまの未来をひらく読書の力プロジェクト	被災した子ども・親たちに、本とのふれあいを通して心を癒し、親子のふれあいを深めるための読み聞かせ等を行うフェスティバルを開催する。また、高校生を対象にしたビブリオバトル福島県大会を通して、広く県民に対し子どもの読書活動についての理解の促進のための普及活動・啓発活動を実施する。	社会教育課	2,274	1,245
5	ふくしまの未来を担う高校生海外研修・グローバル支援事業	学校が教育活動の一環として実施する海外ホームステイ研修に参加する県内の県立・私立高校生及び海外より招へいする高校生に対して参加経費の一部を支援する。また、研修の成果を教育委員会主催の「英語スピーチコンテスト」や教育委員会のホームページ等を通じて県内外に広く発信する。	高校教育課	42,355	26,340
6	ふくしまからはじめよう。元気なふくしまっ子食環境整備事業(子どもが作る地場産物健康レシピ事業)	学校給食における地場産物の活用について、原子力発電所事故に伴う放射線の健康影響に関する不安があり活用率も震災前に回復していない。そこで、小中学生を対象に地元の農産物を活用した料理コンテストを開催し、入賞したレシピを広く県民に発信することにより、子どもたちの食べる力の育成や地元の食材に対する理解を深め、地場産物の活用率の向上につなげる。	健康教育課	2,888	431
7	福島県子どもの学習支援事業	生活困窮者自立支援法(平成25年法律第105号)第6条第1項第4号に基づき、子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、また、貧困が世代を越えて連鎖することのないよう、必要な環境整備と教育の機会均等を図るため、生活困窮等の世帯に属する子どもに対して、家庭訪問等による学習支援を行う事業。	社会福祉課	23,216	2,562
8	児童養護施設等入所児童自立支援事業	児童養護施設等に入所している児童が就職条件に適合するため、整備等を推進することにより、就職先の選択肢の拡大を図り、児童の社会的自立の促進を図る。	児童家庭課	4,200	2,400
9	児童養護施設等退所者のための支援給付金事業	児童養護施設等を退所し、進学する者について、生活を支援する生活給付金、進学・新生活準備のための入学支度金、住居契約更新等の臨時支出費用のための臨時給付金を給付することで、経済面の安定を図り、自立のための支援を行う。	児童家庭課	10,407	10,407
10	地域で支える子育て推進事業	核家族化の進行や、近隣との唾狩りの希薄化などにより、子育て世代の孤立化が進んでおり、地域全体で子育てを支援する機運を高めるための事業	子ども・青少年政策課	10,000	10,000
11	フードバンク等支援推進事業	子ども食堂をはじめとした、子どもの居場所づくり事業の運営においては、実施団体の持ち出しが多く、事業の長期継続には支援が必要であることから、フードバンクやフードドライブで集まった食品等を届けるなど、子どもの居場所を支援する取組をモデル事業として補助することで、広く広報し、県内各地域への取組の支援をする。	子ども・青少年政策課	1,500	1,500
合計				116,427	59,757